

日本史B

I 次の設問（問1～9）に答えなさい。

問1 以下の文中の空欄 1、2 に入るものとも適切な語句を、下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

672年、壬申の乱に勝利した大海人皇子は、翌年即位して天武天皇となり、天皇中心の政治を強力に推し進めた。684年には 1 を制定して、豪族たちの身分秩序を再編成し、あらたな都づくりのほか、歴史書や律令の編纂に着手した。天武天皇のあとには、皇后であった持統天皇が諸政策を引き継ぎ、統治のしくみを整えた。また694年には国家を運営する中心として、中国にならった都城である 2 を完成させ、都を移した。

(選択肢)

- ア 蔭位の制 イ 大宝律令 ウ 庚午年籍 エ 八色の姓
オ 飛鳥京 カ 長岡京 キ 藤原京 ク 平城京

問2 以下の文中の空欄 3、4 に入るものとも適切な語句を、下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

9世紀はじめに即位した嵯峨天皇は国政を主導し、810年（弘仁元年）には、政治機密の保持のために、天皇の側近にあって詔・勅の伝達や訴訟などを太政官に取り次ぐ藏人所を設置した。藏人所の長官である藏人頭には、天皇の信任のあついで 3 が任命された。さらに、政情不安な京の治安維持などを職務とする 4 を設置した。この藏人や 4 は、令に定められていない官職（令外官）であるが、しだいに強大な権限をもつようになっていった。

(選択肢)

- ア 藤原冬嗣 イ 藤原基経 ウ 藤原良房 エ 藤原頼通
オ 按察使 カ 勘解由使 キ 檢非違使 ク 追捕使

問3 以下の文中の空欄 5、6 に入るものとも適切な語句を、下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

1086年（応徳3年）、白河天皇は幼少の堀河天皇に譲位した後も、上皇として院庁を拠点に政治の実権を行使した。これが院政のはじまりであり、このような形は 5 上皇・後白河上皇にも引き継がれて、およそ100年あまりつづくこととなった。政治的制約の少ない立場にたつ上皇は、直系の天皇を後見しながら専制的な政治を行い、摂関家を圧倒した。また白河上皇は、院の御所に畿内や近国の武士を 6 の武士として組織し、独自の軍勢力ももった。

(選択肢)

- ア 醍醐 イ 後醍醐 ウ 鳥羽 エ 花園
オ 滝口 カ 北面 キ 東方 ク 西面

問4 鎌倉時代の執権政治に関する記述A～Cを古いものから順に並べた場合、正しいものはどれか。下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄 7 に記号で答えなさい。

- A 引付衆を設置し、迅速で公正な裁判をめざした。
B 有力御家人や政務にすぐれた武士を評定衆とし、合議にもとづく政治体制をつくった。
C 源頼朝以来の先例や、武家社会での慣習・道徳などを成文化し、御成敗式目51ヶ条を制定した。

(選択肢)

- ア A-B-C イ A-C-B ウ B-A-C
エ B-C-A オ C-A-B カ C-B-A

問5 以下の文中の空欄 8、9 に入るものとも適切な語句を、下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

中世後期になると、地方の国人たちは自分たちの権益を守ろうとして、しばしば国人一揆を結成した。1485年（文明17年）、 8 の国一揆は、両派に分かれて争って争っていた畠山氏の軍を国外に退去させ、住民の支持を得て8年にわたり一揆の自治的支配を実現した。また、1488年（長享2年）におこった 9 の一向一揆は、浄土真宗本願寺派の勢力を背景に 9 の門徒が国人と手を結び、守護富樫政親を倒したもので、一揆が実質的に支配する本願寺領国が、約1世紀にわたって続いた。

(選択肢)

- ア 伊豆 イ 尾張 ウ 甲斐 エ 加賀
オ 河内 カ 摂津 キ 山城 ク 大和

問6 以下の文中の空欄 10、11 に入るもっとも適切な語句を、下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

江戸時代、庶民に親しまれた浮世絵は、18世紀なかばに錦絵とよばれる多色摺りの画法によって大変革がもたらされた。寛政期には 10 や東洲斎写楽が、大首絵の手法を駆使してすぐれた作品を生み出し、庶民にもてはやされた。一方、文芸の世界では、江戸の遊里を舞台にした洒落本や、社説や政治を風刺漫画化した大人向けの黄表紙などが流行した。しかし、寛政改革においては、風俗統制によって洒落本や黄表紙は厳しく取り締まられ、代表的作家として人気を博した 11 など処罰された。

(選択肢)

- ア 葛飾北斎 イ 歌川豊国 ウ 喜多川歌麿 エ 十返舎一九
オ 山東京伝 カ 鈴木春信 キ 為永春水 ク 柳亭種彦

問7 江戸時代後期の欧米列強との間でおこった事件A～Cを、古いものから順に並べた場合、正しいものはどれか。下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄 12 に記号で答えなさい。

- A ロシア船の艦長ゴローニンが国後島に上陸し、日本の役人に逮捕され、抑留された。
B イギリスの軍艦フェュートン号は、当時敵国であったオランダ船を追って長崎に侵入した。
C アメリカの商船モリソン号が、日本漂流民の送還と日本との貿易開始を交渉するために来航した際、砲撃を加えて撃退した。

(選択肢)

- ア A—B—C イ A—C—B ウ B—A—C
エ B—C—A オ C—A—B カ C—B—A

問8 明治時代の諸政策に関する記述A～Cを古いものから順に並べた場合、正しいものはどれか。下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄 13 に記号で答えなさい。

- A 地租改正条例を公布し、地租改正に着手した。
B 新貨条例を定め、十進法を採用し、円・銭・厘を単位とする新貨をつくった。
C 神仏分離令を出し、古代以来の神仏習合を禁じて神道を国教とする方針を打ち出した。

(選択肢)

- ア A—B—C イ A—C—B ウ B—A—C
エ B—C—A オ C—A—B カ C—B—A

問9 以下の文中の空欄 14、15 に入るもっとも適切な語句を、下記の選択肢の中から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

中国で辛亥革命がおきると、陸軍は抗日運動の拡大を警戒して朝鮮派遣軍の増強を要求した。これを拒否した第二次西園寺内閣は総辞職に追い込まれ、第三次 14 内閣が成立した。これに対して、政党や言論界などからは、政府や陸軍に影響力をもち藩閥勢力の横暴だと非難する声があがり、内閣打倒の運動は全国に拡大し、多数の民衆が参加した。これがいわゆる第一次 15 である。窮地に陥った 14 はみずから新政党の結成に乗り出し、これに対抗しようとしたが、世論の攻撃をおさえることができず、1913年(大正2年)、民衆が議会を包囲するなか、在職わずか50日あまりで退陣した(大正政変)。

(選択肢)

- ア 加藤高明 イ 桂太郎 ウ 西園寺公望 エ 山本権兵衛
オ 解放運動 カ 護憲運動 キ 社会運動 ク 擁護運動

II 以下の文中の空欄にもっとも適する語句を解答用紙の解答記入欄に記入しなさい。

(1) 室町幕府は、禅宗の一派である [A] を保護し、南宋の官寺制度にならって京都と鎌倉に [B] をおき、それに継ぐ格式の寺院として十刹を定めた。当時は外交文書に漢文が用いられていたこともあって、禅僧の中には、政治・外交の担当者として重用される者も少なくなかった。またこの時代、 [B] の禅寺は学問・文芸の中心となり、絵画の分野においても、禅の精神的境地を描いた [C] に多くの作品を残した。

(2) 16世紀末より、ヨーロッパでは旧教国ポルトガル・イスパニア（スペイン）にかわって新教国イギリス・オランダが台頭してきた。両国はあいついで新しい商業組織である [D] を設立し、アジアへの進出をはかり、積極的な商業活動を展開した。1600年（慶長5年）、オランダ船リーフデ号が豊後の臼杵に漂着し、徳川家康がその乗組員を外交顧問としたことから両国と日本との関係がはじまり、オランダは1609年（慶長14年）に、イギリスは1613年（慶長18年）に、それぞれ幕府の許可を得て肥前の [E] に商館を開き、貿易に加わった。

(3) 1938年（昭和13年）、近衛内閣は企画院の立案に基づき [F] 法を制定した。これにより、政府は議会の承認なしに、必要に応じて物資の統制を行ったり、労働者を一定の業務に強制的に従事させたりすることができるようになった。また政府は、軍需品を優先的に確保することに重点をおき、軍需産業には輸入資材や資金を優先的に割り当てた。労働力については、1939年（昭和14年）には、 [F] 法に基づき [G] 令によって、一般国民を軍需産業に動員できるようになった。

(4) 1965年（昭和40年）以降、アメリカが [H] への介入を本格化させると、沖縄や日本本土はアメリカ軍の前線基地となった。沖縄では祖国復帰を求める住民の運動が続き、 [H] 戦争の激化とともに、その返還問題があらためて浮上することになった。 [J] 内閣は、非核三原則を明確にして外交交渉を進め、まず1968年（昭和43年）に [K] の返還を実現した。また1971年（昭和46年）には沖縄返還協定が調印され、翌年の協定発効をもって沖縄の日本復帰は実現したが、広大なアメリカ軍基地は存続することになった。

III 明治期における自由権運動について、知るところを150字程度で述べなさい。